平成29年度第２回喜多方市地域公共交通会議　会議録

１　開催日時　　平成29年12月15日（金）午後１時30分～午後２時20分

２　開催場所　　喜多方市厚生会館　１階　ホール

３　出席した委員　29 名

山口 信也 委員	会沢 直好 委員	庄司 一雄 委員	鈴木 弘之 委員
渡部 庄司 委員	渡部 幸博 委員	鈴木 敏生 委員	星　　隆 委員
津田 弘幸 委員	遠藤　　章 委員	大野 富正 委員	皆川 光博 委員
齋藤 健仁 委員	物井 俊徳 委員	山口 隆夫 委員	高澤　　博 委員
江花 長喜 委員	木須 行孝 委員	穴澤 松雄 委員	五十嵐 智 委員
小林　　修 委員	牛渡 朋幸 委員（代）	穴澤 竜太 委員	原　　弘通 委員
石井 隆浩 委員	風間 常義 委員	鈴木 富雄 委員	佐藤　　洋 委員（代）
山口　　浩 委員（代）			

４　欠席した委員　５名

澤井　　淳 委員　　今井　　誠 委員　　宍戸 紳一郎委員　　檜澤 佐京 委員
遠藤 紀雄 委員

５　説明のため出席した者

事務局長	（生活防災課長）	五十嵐 慎
事務局	（生活防災課長補佐）	小荒井 浩
同	（生活防災課市民生活係長）	渡部 洋一

※オブザーバーとして、関係市町村公共交通担当者４名、各総合支所住民課長４名（代理出席あり）が出席

６　配布資料

・平成29年度第２回喜多方市地域公共交通会議次第
・資料１　　喜多方市地域公共交通再編実施計画策定調査事業の進捗状況について
・資料２　　地域公共交通再編実施計画策定に向けた取組みについて
・資料３　　地域公共交通再編実施計画策定に向けた今後の取組みについて

７　会議の経過

（１）開　会
（２）会長あいさつ
（３）議題
規約第８条第１項の規定により、会長である山口信也委員が議長となり開議した。
（午後１時 35 分）

○喜多方市地域公共交通再編実施計画策定調査事業の進捗状況について
・議長が事務局に説明を求めた。
・事務局が資料１により説明を行った。
・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。
（風間委員）市民アンケートの 2,470 通のうち、返答があったものはどのくらいあるのか。
（事務局）　2,470 通のうち、11 月 30 日で取りまとめたのは「867 通」で、回収率は「35.1%」となっている。回収率の見込については「40%」と見込んでいたため、ほぼ見込どおりの回収と考えている。まだ、期限を過ぎても届いている状況であるため、それも含めて分析を進めていきたいと考えている。
・議長がさらに意見・質疑を求めたところ、意見・質疑はなく、承認された。

○地域公共交通再編実施計画策定に向けた取組みについて
・議長が事務局に説明を求めた。
・事務局が資料２により説明を行った。
・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。
（委　員）　「路線バスの喜多方駅への乗り入れ」や指定乗降場所「ふれあいランド高郷」の追加などを実施したようだが、その利用者数はどのくらい増えたのか。また、今後の重点課題の「当日予約」、「土日の運行」などはいつごろから始める予定なのか。
（事務局）　一点目の利用者数については、10 月からの実施であるため、劇的に増加したということではないが、若干ではあるが利用している部分もあるため、周知を行いながら利用増加に向けて取り組んでいきたい。二点目の導入時期の予定については、アンケート調査などで挙げられたニーズなども踏まえ、運行事業者と協議を進めながら調整を図らなければならない点が多いため、計画策定と並行しながらなるべく早い時期に実現できるかも含めながら、運行事業者と打合せを密に行い調整していきたいと考えている。
（委　員）　先日、社会福祉協議会の理事会があり、その中でデマンド交通の予約が大変であるとの意見が出されていたが、その点を把握している中でどのように解決していくのか教えていただきたい。
（事務局）　予約については、網形成計画の策定調査事業での市民アンケートや、今回のアンケートでも意見が出されているところであり、その点をどのように解決していくかについて、受付センター方式がいいのかなども含め、運行事業者と協議をしながらどういった形が利用しやすいのかを検討していきたいと考えている。
・議長がさらに意見・質疑を求めたところ、意見・質疑はなく、承認された。

○地域公共交通再編実施計画策定に向けた取組みについて
・議長が事務局に説明を求めた。
・事務局が資料３により説明を行った。
・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。
（委　員）　運転免許を返納している方もいるので、そういった方にも参加してもらい意見をもらうのもいいと思うが、どうか。
（事務局）　今回のグループインタビュー調査に「運転免許返納者」にもご協力をいただき、広く意見を徴取できるよう進めていきたい。
（委　員）　グループインタビュー調査について、老人クラブにも卓球クラブなどの各種活動グループがあり、その始まりと終わりの時間を把握すれば団体で利用できると思われ、協議したいと思う。また、「指定乗降場所

の共有化」とは具体的にはどういうことなのか。「など」とあるが、その他にもあるのか。

（事務局）　一点目の各種活動グループと協議については、団体での利用ということであれば、利用の増加にもつながる部分もあるので、今後協議及び調整をさせていただきたい。二点目の「指定乗降場所の共有化」については、隣接しているエリア同士にある隣同士の指定乗降場所を片方のエリアの利用者しか行けない状況であるため、どちらのエリアにおいても指定乗降場所として指定し共有できるよう、運行事業者と協議を進めたいと考えている。「など」については、「共有化」と同じような取組みが出てくる場合を想定し、出てきた場合には協議を進めながら取り組んでいきたいと考えている。

（委　員）　グループインタビュー調査の中で、「利用しない理由」も確認すべきだと思う。

（事務局）　その点についても、調査の中で確認していきたいと考えている。

（委　員）　個人的に意見を伝えたいと思っている人もいると思うが、グループインタビュー調査の対象者の吸い上げはどのようにするのか。実施する案内又はチラシの配布はあるのか。

（事務局）　地区の方全部への案内等は想定していない。地区の中の公共交通利用者や移動に困っている方をある程度事務局で選定させてもらい、その方々に通知をして実施していきたいと考えている。

（委　員）　その他の人で意見がある人はどうしたらよいのか。

（事務局）　直接、事務局である生活防災課、各総合支所の住民課に連絡をいただき、対応していきたい。

（委　員）　悩んでいる方は高齢者が多いと思われる。会津若松市では「市政だより」に切手を貼らなくても投函できる「はがき」が付いてくるが、そのような想定していないのか。

（事務局）　広報のお知らせ版やホームページにて事務局である生活防災課、各総合支所の住民課に連絡をいただくよう周知し、対応していきたい

・議長が意見・質疑を求めたところ、次の意見があった。

（４）その他

・議長が意見・質疑を求めたが、意見・質疑はなかった。

〇議長が協議の終了を宣言した。（午後２時 20 分）

（５）閉　会　（午後２時 20 分）